



平成31年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年6月8日

上場会社名 ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社
 コード番号 3657 URL <http://www.poletowin-pitcrew-holdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橘 鉄平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部长 (氏名) 山内 城治

TEL 03-5909-7911

四半期報告書提出予定日 平成30年6月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年1月期第1四半期の連結業績(平成30年2月1日～平成30年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年1月期第1四半期 | 5,498 | 10.3 | 544 | 9.0 | 524 | 0.7 | 216 | 22.7 |
| 30年1月期第1四半期 | 4,987 | 16.8 | 499 | 74.5 | 527 | 135.2 | 280 | 587.7 |

(注) 包括利益 31年1月期第1四半期 129百万円 (31.9%) 30年1月期第1四半期 189百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年1月期第1四半期 | 12.10 | 12.08 |
| 30年1月期第1四半期 | 15.32 | 15.30 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年1月期第1四半期 | 12,725 | 8,842 | 69.5 |
| 30年1月期 | 12,291 | 9,053 | 73.7 |

(参考) 自己資本 31年1月期第1四半期 8,842百万円 30年1月期 9,053百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年1月期 | | 0.00 | | 19.00 | 19.00 |
| 31年1月期 | | | | | |
| 31年1月期(予想) | | 0.00 | | 20.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年1月期の連結業績予想(平成30年2月1日～平成31年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 11,697 | 10.4 | 1,024 | 8.9 | 1,030 | 11.5 | 590 | 5.0 | 30.96 |
| 通期 | 25,108 | 12.8 | 2,612 | 16.1 | 2,624 | 11.6 | 1,614 | 46.8 | 84.71 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名)株式会社サイタスマネジメント
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 31年1月期1Q | 19,058,400 株 | 30年1月期 | 19,058,400 株 |
| 期末自己株式数 | 31年1月期1Q | 1,136,694 株 | 30年1月期 | 1,136,694 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 31年1月期1Q | 17,921,706 株 | 30年1月期1Q | 18,313,599 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 第 1 四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 第 1 四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 1 四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くことが期待されておりますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

このような経済状況のもと、当社グループの主要事業であるデバッグ・検証事業の関連市場においては、スマートフォンやタブレット端末の普及を背景に、グローバルにソーシャルゲーム市場が拡大しており、多言語対応を前提としたデバッグ、ローカライズ（翻訳）やカスタマーサポートの需要も拡大しております。家庭用ゲーム市場においても、プレイステーション 4、ニンテンドースイッチの販売が好調に推移しております。

一方、ネットサポート事業の関連市場においては、ネットショッピング、フリマアプリ（フリーマーケットアプリ）や映像・電子書籍等の E コマース（電子商取引）が広がりを見せております。それに伴い、出品物チェック、薬機法や景品表示法等に基づく広告審査、権利侵害調査やエンドユーザーからのお問い合わせ対応等の需要が拡大しております。また、最近は子どもたちのインターネット利用に関するトラブル対応やその抑止のため、各自治体の教育委員会や私立学校が、ネットトラブル相談窓口の開設や学校裏サイトのモニタリング、生徒及びその保護者を対象にしたネットリテラシー教育に力を入れております。

当社グループにおいては、顧客企業の事業多角化や海外展開、業務プロセスの高度化や複雑化に伴い発生する業務のアウトソーシング事業者として、「人」によるチェック、テスト、モニタリングや審査等のサービスを提供しております。当第 1 四半期連結累計期間においては、顧客企業に対するサービス力の向上及び経営効率化を目的として、ピットクルー株式会社、ピットクルー・コアオプス株式会社及びピットクルー・クロスラボ株式会社の 3 社による組織再編を行いました。また、サーバー監視のサービス範囲を拡大するために 3 月に株式会社サイタスマネジメントを連結子会社といたしました。国内拠点と海外 10 カ国 19 拠点の連携により、デバッグ、ローカライズ、モニタリング、カスタマーサポート等の「ワンストップ・フルサービス」の提供をグローバルで推進いたしました。

この結果、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は 5,498,770 千円（前年同期比 10.3% 増）、営業利益は 544,472 千円（同 9.0% 増）、経常利益は 524,185 千円（同 0.7% 減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 216,766 千円（同 22.7% 減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① デバッグ・検証事業

当事業におきましては、9 カ国 18 拠点体制による海外と国内グループ会社の連携を図ることで、国内外ゲームソフトメーカーのグローバル展開サポートに努め、デバッグ、ローカライズ、カスタマーサポート（海外）等のゲームソフトメーカー向けアウトソーシングサービスが拡大いたしました。アミューズメント機器向けアウトソーシングサービスの受注減少がありましたが、国内外にてソーシャルゲームのデバッグ、ローカライズやカスタマーサポート（海外）が増加いたしました。この結果、デバッグ・検証事業の売上高は 4,175,615 千円（前年同期比 3.9% 増）、営業利益は 589,938 千円（同 11.4% 増）となりました。

② ネットサポート事業

当事業におきましては、ネットショッピングサイト、ネットオークションサイト、フリマアプリにおける出品物チェック業務、薬機法や景品表示法等に基づく広告審査業務、代金や商品到着等に関する電話・メール・チャットによるカスタマーサポート（国内）等のアウトソーシングサービスの受注が増加いたしました。青少年のネットリテラシー向上を目的としたスクールネットパトロール事業では、「SNS いじめ・ネットトラブル相談窓口」の運営受託、匿名報告・相談アプリ「STOPit」への対応を開始いたしました。また、当第 1 四半期連結会計期間より連結子会社となった株式会社サイタスマネジメントの売上高、利益が寄与いたしました。この結果、ネットサポート事業の売上高は 1,217,779 千円（前年同期比 38.8% 増）、営業利益は 42,300 千円（前年同期比 19.4% 増）となりました。

③ 医療関連事業

アイメド株式会社において、介護士、介護福祉士等の医療関連人材紹介サービスや教育サービスを提供しておりますが、外国人技能実習制度に関する関係国における法整備、許認可の遅れにより、当事業の売上高は 70,570 千円（前年同期比 19.1% 増）、営業損失は 96,425 千円（前年同期は 65,693 千円の損失）となりました。

④ その他

Palabra株式会社において、今後の映像バリアフリー化時代を見据え、テレビ番組や映画のバリアフリー字幕や音声ガイド制作のサービスを提供しております。当事業の売上高は34,805千円（前年同期比4.6%増）、営業利益は3,948千円（前年同期比10.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて272,604千円（2.9%）増加し、9,671,219千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が112,322千円減少しましたが、現金及び預金が263,854千円、未収入金等（その他）が73,504千円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて160,576千円（5.5%）増加し、3,053,930千円となりました。これは、主にソフトウェアが62,166千円、のれんが60,232千円、敷金及び保証金が43,251千円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて433,181千円（3.5%）増加し、12,725,150千円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて620,426千円（20.3%）増加し、3,672,773千円となりました。これは、主に未払法人税等が356,578千円減少しましたが、短期借入金が500,000千円、未払金が157,719千円、預り金等（その他）が191,223千円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて24,116千円（13.0%）増加し、209,954千円となりました。これは、主に退職給付に係る負債が3,277千円、その他の固定負債が19,976千円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて644,542千円（19.9%）増加し、3,882,728千円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて211,360千円（2.3%）減少し、8,842,421千円となりました。これは、主に配当金の支払い等により利益剰余金が123,745千円、為替換算調整勘定が86,593千円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては売上高、利益ともに概ね計画どおり推移しております。デバッグ・検証事業については、ソーシャルゲーム向けデバッグが増加傾向にありますが、アミューズメント機器市場や為替相場の動向には引き続き留意する必要があります。ネットサポート事業については、Eコマース向けアウトソーシングサービスの引き合いは増加しておりますが、競合環境の激化に留意する必要があります。また、医療関連事業については、外国人技能実習制度に関する関係国における法整備の動向に引き続き留意する必要があります。現時点においては、第2四半期以降も概ね計画どおり業績推移するものと予測しており、平成30年3月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年1月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年4月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,746,832 | 6,010,687 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,814,309 | 2,701,986 |
| 商品及び製品 | 17,393 | 18,530 |
| 仕掛品 | 61,837 | 124,465 |
| 繰延税金資産 | 85,274 | 88,269 |
| その他 | 681,179 | 754,683 |
| 貸倒引当金 | △8,212 | △27,403 |
| 流動資産合計 | 9,398,614 | 9,671,219 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 866,891 | 875,955 |
| 減価償却累計額 | △395,910 | △418,841 |
| 建物及び構築物 (純額) | 470,981 | 457,113 |
| 機械装置及び運搬具 | 19,444 | 19,444 |
| 減価償却累計額 | △10,548 | △10,982 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 8,896 | 8,462 |
| 工具、器具及び備品 | 1,112,401 | 1,192,694 |
| 減価償却累計額 | △843,193 | △927,843 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 269,207 | 264,850 |
| 有形固定資産合計 | 749,085 | 730,426 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 979,700 | 1,039,932 |
| ソフトウェア | 50,599 | 112,766 |
| 無形資産 | 127,705 | 112,985 |
| その他 | 2,244 | 2,395 |
| 無形固定資産合計 | 1,160,250 | 1,268,081 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 192,454 | 190,893 |
| 敷金及び保証金 | 559,425 | 602,677 |
| 繰延税金資産 | 57,727 | 60,600 |
| その他 | 232,409 | 271,956 |
| 貸倒引当金 | △58,000 | △70,703 |
| 投資その他の資産合計 | 984,017 | 1,055,422 |
| 固定資産合計 | 2,893,353 | 3,053,930 |
| 資産合計 | 12,291,968 | 12,725,150 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年1月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年4月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | - | 500,000 |
| 未払金 | 1,484,551 | 1,642,270 |
| 未払費用 | 174,737 | 184,019 |
| 未払法人税等 | 583,958 | 227,380 |
| 賞与引当金 | 53,453 | 172,232 |
| その他 | 755,646 | 946,870 |
| 流動負債合計 | 3,052,347 | 3,672,773 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 59,444 | 62,722 |
| 繰延税金負債 | 30,105 | 30,967 |
| その他 | 96,288 | 116,264 |
| 固定負債合計 | 185,838 | 209,954 |
| 負債合計 | 3,238,186 | 3,882,728 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,237,517 | 1,237,517 |
| 資本剰余金 | 1,283,971 | 1,283,971 |
| 利益剰余金 | 7,836,269 | 7,712,524 |
| 自己株式 | △1,412,900 | △1,412,900 |
| 株主資本合計 | 8,944,857 | 8,821,112 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 15,243 | 14,222 |
| 為替換算調整勘定 | 93,680 | 7,086 |
| その他の包括利益累計額合計 | 108,924 | 21,309 |
| 純資産合計 | 9,053,781 | 8,842,421 |
| 負債純資産合計 | 12,291,968 | 12,725,150 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 2 月 1 日 至 平成29年 4 月 30 日) | 当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成30年 2 月 1 日 至 平成30年 4 月 30 日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 4,987,155 | 5,498,770 |
| 売上原価 | 3,347,209 | 3,739,671 |
| 売上総利益 | 1,639,945 | 1,759,099 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,140,434 | 1,214,626 |
| 営業利益 | 499,511 | 544,472 |
| 営業外収益 | | |
| 為替差益 | 20,100 | - |
| 助成金収入 | 3,680 | 2,842 |
| その他 | 4,844 | 3,063 |
| 営業外収益合計 | 28,626 | 5,906 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | - | 401 |
| 為替差損 | - | 21,943 |
| その他 | 275 | 3,847 |
| 営業外費用合計 | 275 | 26,193 |
| 経常利益 | 527,862 | 524,185 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | - | 4,499 |
| 特別利益合計 | - | 4,499 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | - | 1,996 |
| 固定資産売却損 | - | 47 |
| 役員退職慰労金 | - | 71,887 |
| 特別損失合計 | - | 73,931 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 527,862 | 454,753 |
| 法人税等 | 252,734 | 237,986 |
| 四半期純利益 | 275,127 | 216,766 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △5,396 | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 280,524 | 216,766 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 2 月 1 日 至 平成29年 4 月 30日) | 当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成30年 2 月 1 日 至 平成30年 4 月 30日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 275, 127 | 216, 766 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △253 | △1, 021 |
| 為替換算調整勘定 | △85, 156 | △86, 593 |
| その他の包括利益合計 | △85, 409 | △87, 614 |
| 四半期包括利益 | 189, 718 | 129, 151 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 198, 151 | 129, 151 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △8, 433 | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第 1 四半期連結会計期間において、株式会社サイタスマネジメントの全株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。なお、同社は当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第 1 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 2 月 1 日 至 平成29年 4 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------------|-------------------|------------|-----------|--------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | デバッグ・ 検証事業 | ネットサ ポート事 業 | 医療関連 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,017,113 | 877,524 | 59,254 | 4,953,892 | 33,263 | 4,987,155 | - | 4,987,155 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替 高 | 3,950 | 7,155 | - | 11,105 | - | 11,105 | △11,105 | - |
| 計 | 4,021,063 | 884,680 | 59,254 | 4,964,998 | 33,263 | 4,998,261 | △11,105 | 4,987,155 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 529,490 | 35,439 | △65,693 | 499,236 | 4,385 | 503,622 | △4,111 | 499,511 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に出版・メディア事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△4,111千円には、セグメント間取引消去127,195千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△131,306千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第 1 四半期連結累計期間（自 平成30年 2 月 1 日 至 平成30年 4 月 30 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------------|-------------------|------------|-----------|--------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | デバッグ・ 検証事業 | ネットサ ポート事 業 | 医療関連 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,175,615 | 1,217,779 | 70,570 | 5,463,965 | 34,805 | 5,498,770 | - | 5,498,770 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替 高 | 66,964 | 9,846 | - | 76,811 | - | 76,811 | △76,811 | - |
| 計 | 4,242,580 | 1,227,626 | 70,570 | 5,540,776 | 34,805 | 5,575,581 | △76,811 | 5,498,770 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 589,938 | 42,300 | △96,425 | 535,813 | 3,948 | 539,761 | 4,710 | 544,472 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に出版・メディア事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額4,710千円には、セグメント間取引消去138,842千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△134,131千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「医療関連事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第 1 四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第 1 四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。